

備前市事務事業評価表

事務事業名	都市交通施設事業		コード	01-01-04-01
			担当課・係	都市整備課・都市計画係
			担当者	大森賢二
			電話	0869-64-1834
事業実施期間				
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり		
	中項目(基本施策)	生活しやすいまちづくり		
	小項目(施策)	都市交通施設		

事業について	
目的 (何のために)	安全で快適な都市活動と活力ある健全なまちづくりを促進するため、街路の速やかな整備、充実を積極的に推進するため
対象 (誰・何を対象に)	都市交通施設を利用する人
内容	まちづくり協議会の運営、街路関係の協議会会員として要望や意向、アンケートの提出をすることや、会費の納入の事務。

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
まちづくり協議会	4回	9回	
要望・意見の提出	1回	1回	
都市計画法53条申請	9件	10件	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	16	間接補助金等		直接事業費	1,973	間接補助金等	525
	人件費	1,920	受益者負担		人件費	4,710	受益者負担	
	合計	1,936	市債	1,936	合計	6,683	市債	6,158
			一般財源等				一般財源等	0

必要人員	0.20人	0.50人	
結果指標名	まちづくり協議会開催回数	まちづくり協議会開催回数	
結果指標量	4	9	
単位	回	回	
対前年比	-	225.00%	0.00%
活動にかかるコスト	1,936,000円	6,683,000円	
単位当たりコスト①	484,000円	742,556円	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	協働のまちづくりを基本として市民によるまちづくりを推進する		
成果指標名	まちづくり協議会への市の参加率	式又は説明	まちづくり協議会開催回数/年4回
	17年度	18年度	
成果指標量	100%	225%	
対前年比	-	225.00%	0.00%
到達目標値	100%	到達目標年度	毎年度

事務事業の評価		(平成18年度事業)		
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等：	妥当性評価<A~E>	A
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	課題認識	街路・道路事業について速やかな整備、充実に積極的に推進し、事業実施に係る市民による協議会の設置運営
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である		
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である			
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E>	A
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	課題認識	街路・道路事業について早急に実施できるように、他部署と連絡調整を行い、要望、意見の集約につとめる。
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい		
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E>		
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	課題認識	現在は街路事業は実施していないが、道づくりをまちづくりの基本として市民によるまちづくり協議会の運営を行う。
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input checked="" type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

平成19年度の状況		説明
<input checked="" type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
目標値	結果指標量① 9回	結果指標量②
	成果指標量 100%	

総合評価	現在、街路事業は中断しているが、道づくりをまちづくりの基本として安全で快適な都市活動を促進するため、積極的に推進する必要がある。	評価区分 <A~E>	A
------	--	---------------	---

平成20年度以降の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	---	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	市民との協働による事業プランを策定し、自分たちのまちは自分たちで創るという意識を確立する	毎年度	事業内容に市民の意見を取り入れることによって郷土意識の向上と事業実施における協力体制が具体化する